

げん

八王子センター元気
TEL & FAX
042-627-9179
八王子市大横町11-35

「むかし若もの ふれあい作品展」

初めての開催

高齢者、家族、介護職員の関心高く

平成21年12月12日(土)13日(日)の両日、いちごホールで、八王子センター元気(八王子市高齢者活動コーディネートセンター)が主催する「むかし若ものふれあい作品展」が開催されました。八王子市内21の高齢者施設と三団体が出展し、入場者も三百人を超え、関心の高さがうかがえるものとなりました。

この催しは、八王子センター元気の平成21年度主催事業の一環として企画され、昨年三月から活動が開始されました。意図するところは、「励み」と「ふれあい」です。

高齢者施設での活動成果



第六回傾聴ボランティア養成講座 全員に修了証
平成21年10月21日(水)に開始された講座は、46名の参加を得て11月20日(金)終了しました。今回の講座は七月に終了した第五回講座を受講できなかった方々のために急ぎよ開催されました。熱気溢れる真摯な受講姿勢で、開講以来初めて全員に修了証が授与され、うち34名が傾聴ボランティアとして活動しています

は、施設の中では展示され関係者に見てもらっていましたが、八王子センター元気ではこれを一般向けに展示することに、一層の励みになればと考えました。展示を通して御家族との「ふれあい」の話題を作ることも、ふだん多忙な施設職員に他施設の展示を見てもらって今後の活動の参考にさせていただく機会を提供し、さらには施設相互の交流に発展すればとも考えました。

しかし、初めての企画なので、施設の意向を確かめなくてはなりません。成功する鍵は施設の協力です。幸い、展示を希望していただいた施設は非常に意欲的で、利用者様・職員の方がそれぞれのテーマ・企画を見事に表現していました。ただ、次々と注文が出て、大変なにぎわいになりました。展示のほうも、車椅子の方や杖をつかれた方が職員の付添いで説明に耳を傾けながら熱心に見入る姿、コーナーの前で記念写真を撮るグループ、御家族やお孫さんに自分の作品を説明する光景など、あちらこちらで暖かい「ふれあい」が見られました。

しかし、初めての企画なので、施設の意向を確かめなくてはなりません。成功する鍵は施設の協力です。幸い、展示を希望していただいた施設は非常に意欲的で、利用者様・職員の方が



来場者は3百人を超えた
車椅子も準備された。

ここに至るまでには、出展者はもちろんのこと、施設職員、主催者側、それに大変なご努力があったことと思われませんが、それを補って余りある充実感を得られたことと思われま

(佐藤 照)

高齢者在宅デイサービスセンター 石川



むかし若もの ふれあい作品展

デイサービス ローズガーデン北野



丘の上デイサービスセンター

ファミリーマイホーム デイサービスセンター



心成苑第一 デイサービスセンター

清心福祉会 ファミリーマイホーム



高齢者在宅サービスセンター中野

高齢者在宅サービスセンターやまゆり



介護老人保健施設 どうむ

介護老人保健施設 ゆうむ



サンシルバーク町田

ファミリーデー
サービスセンター



幸楽寺番館

ジョイステージ
八王子



偕楽園ホーム

デイサービス
うらら



ハートランド
くらんぱくらんま

多摩特養老人ホーム



特別養護老人ホーム
青陽園

八王子市市民活動
支援センター



グループホーム
真秀の里

八王子市シルバー
人材センター



ファミリーイン
堀の内

講師紹介シリーズ 第九回

ハーモニカ演奏 平井 豊さん

平井豊さんは、ハーモニカ演奏の特技で登録され、多忙なスケジュールの中に福祉施設訪問を織り込み活躍されています。

私の年間スケジュール

海外旅行

私の一年間のスケジュールを決める作業は、前年の十一月から始まります。第一優先順位である海外旅行を仲間と話し合って決めないと、来年の予定が立たないのです。

定年退職した平成七年、ドイツ・ロマンティック街道へ初めての海外旅行に出かけました。ライン・クルーズ、古城巡り、中世の面影の残る街並み、すべてが素晴らしく大変なカルチャーショックでした。しかし、もつとショックを受けたのは、スイス・アルプスで、スケールの大きい山容に魅せられ、以後、毎年のように、ヨーロッパ・アルプス

をトレッキングしたことが今も胸の奥に深く刻まれています。

今年のスケジュール

一、年間予定

海外旅行 グラウンドゴルフ・ツアー旅行 北アルプストレッキング 各種グ



七夕祭り

ラウンドゴルフ大会参加

二、月間予定

月二回ボランティア（介護老人施設にてハーモニカ演奏と合唱） 月例グラウンドゴルフ大会 童謡、唱歌（歌の会、第四木曜日） 近郊低山トレッキング

三、週間予定

月曜日はパソコン教室 火曜日、木曜日は歌唱作り 水、金、土曜日はグラウンドゴルフ練習試合 その他（庭造り、庭の手入れ他）

最後に、介護老人施設でのボランティアですが、お

年寄りの皆さんが私のハーモニカを楽しみに待っていて下さるお気持ちがとても嬉しく励みになります。（平井 豊）

編集員の記―お正月

「年中行事の役割」

日本では、毎日どこかで祭りが行われているといつてもよいぐらい、多くの年中行事や祭りがあります。その多くは、農耕や漁労で生きてきた日本人が、自然を畏れ、その恵みに感謝するためにやってきたものです。

「年中行事と二つの暦」

農耕や漁労を行うには、正確な暦を作って季節の移り変わりを知らることが重要でした。現在の「太陽暦」が導入されるまで千二百年間にわたって使われてきたのが旧暦といわれる「太陰太陽暦」です。太陽暦が新暦として導入された明治五年十二月三日が明治六年（一八七三年）一月一日とされました。年中行事を考える時には、新暦と旧暦の暦があることを頭に置いておくことが分かります。

「一年の初めの日の朝」

「元」は初め、「旦」は朝、夜明けの意味で、元旦は一月一日の初めの朝のことです。今は「年の初めを祝う」ための国民の祝日ですが、むかしは年神を迎えて祝る日でした。日没が一日の終わりだったので、年神祭りは大晦日の夕刻から行われました。

「年初に豊作を祈る」

正月は、昔の日本人にとって、暦が替わるだけでなく、一年に一度、年神が訪れる大切な日でした。そのため、年神を迎えて一年を生き抜く力をもらい、五穀豊穡を祈るさまざまな儀礼が行われました。

「その年一番に汲む水」

「福水」「若井」「初井」などといわれ、一家の主や長男が務めることが多く、いろいろな作法がありました。暗いうちに出かけ、他人に会ってはならず、会っても口を利いてはならないとされていました。餅や米を水

神様に供え、「福くむ、徳くむ、幸くむ」と唱えます。

「一年の無事と平安を祈る」 初詣は、元旦に土地の氏神に参詣することでしたが、いまでは新年に初めて社寺に参ることをいっています。

「一つひとつに意味がある」 かつて正月に飾る門松や鏡餅は、年神を迎えるために準備されました。門松は神が訪れる時の目印であり、神を迎えて祀りました。玄関や床の間に飾られる注連（しめ）飾りは、注連縄に縁起物の飾りをつけたもので、神社などが神域であることを表します。鏡餅は、神事に使われる鏡と同じ円形をしているのが由来です。

「健康と長寿を祈る薬酒」 お屠蘇は一年間の邪気を払い、延命長寿を願う薬酒で、山椒、防風、肉桂など香りの強い薬草を日本酒などに浸して作ります。（須）